11月 町屋幼稚園だより

令和８年１０月３０日
荒川区立町屋幼稚園
園長　浪江　泰弘

実りの秋、子供たちの成長の姿

園長　浪江　泰弘

先日、荒川区立第四峡田小学校において、「町屋こどもまつり」が開催されました。本園の子どもたちも参加し、楽しむ姿が見られました。また、各ふれあい館のステージ発表に参加し、かっこよくダンスを披露してくれた子どもたちもいます。地域の友達と一緒に楽しく踊る姿からは、普段幼稚園で見せる姿とはまた違った一面を見ることができ、地域行事への参加を通して大きく成長している様子に、大変頼もしく感じております。

11 月は「実りの秋」と言われますが、この時期は子どもたちの心と体の成長にとっても、大きな「実り」を感じる季節です。運動会などの大きな行事を経て、友達と力を合わせることの楽しさや、最後まで諦めずにやり遂げる達成感を味わった子供たちは、ひと回りもふた回りも大きく、頼もしくなりました。

日々の遊びの中でも、「一緒にやろう！」「こうしたら上手くいくよ」といった子ども同士の声かけが増え、相手を思いやる気持ちや協力する姿が多く見られます。ご家庭でも、お子様の「一人でできた！」や「友達と助け合った！」という小さな成長の瞬間を、ぜひ一緒に喜び、たくさん褒めてあげてください。

これから寒さが本格化してまいりますが、風邪などに負けず、秋ならではの自然体験や遊びを存分に楽しんでいきたいと思います。

≪今月のねらい≫
【年　長】〇友達と考えを出し合い、共通の目的に向かって遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
〇秋から冬への自然の変化にふれ、工夫したり試したりして遊びに取り入れることを楽しむ。

運動会、たくさんの応援をありがとうございました

運動会～つなげようこころのわ～では、たくさんのご協力と応援をいただきありがとうございました。保護者の皆様や修了児保護者のボランティアの皆様、地域の皆様に支えていただき開催することができました。第七峡田小学校の５年生有志のみなさんや町屋幼稚園修了児のみなさんにも参加してもらい、当日も競技を楽しみました。たくさんの方々にあたたかく見守られていることを改めて感じることができた町屋幼稚園最後の運動会でした。運動会のあとも子どもたちはいろいろな競技に挑戦し、身体を動かすことを楽しんでいます。




第七峡田小学校の５年生にバルーンの取組を見てもらい応援してもらいました。
当日も有志のみなさんと一緒に競技に挑戦しました。



参観者のみなさまに
全員参加競技に参加していただきました。

町屋幼稚園の歴史探訪　⑥

新型コロナウイルスの影響で令和2年度の入園式は歴史上はじめて6月に行われました。園に集まって活動をすることが難しいなか、グループごとに分散登園をしたり、オンライン保育で製作活動などをしたりする取組が行われました。ご来賓をお招きすることは叶いませんでしたが、11月には園内で創立70周年記念式典を行い、青空のもとバルーンを飛ばしました。修了児保護者の方がデザインしてくださり、名前を当時の在園児みんなで考えた園のキャラクター「まちっぴー」も誕生しました。今までにない時代の中でも、たくましく成長していく子どもたちの姿がありました。



教員も悩みながら取り組んだ
オンライン保育



創立７０周年での
バルーンリース